

## 独立行政法人国際観光振興機構 契約監視委員会 2023年度(第1回)議事概要

開催日	2023年6月23日(金)		
場所	独立行政法人国際観光振興機構 本部会議室		
出席委員氏名	委員長 戸田次郎(国際観光振興機構監事)		
	委員 今井和男(弁護士)		
	委員 西村幸夫(國學院大學観光まちづくり学部 学部長・教授)		
	委員 廻洋子(敬愛大学国際学部 特任教授)		
審査対象期間	2022年10月1日 ~ 2023年3月31日		
抽出案件	3	件	(備考)
(内訳)			契約件名:
一般競争入札	1	件	契約相手方: (別紙のとおり)
指名競争入札	0	件	契約金額:
随意契約	2	件	契約締結日:
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問		回答
	(別紙のとおり)		(別紙のとおり)
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	(別紙のとおり)		
議題1. 2023年度の主な取組方針			
別紙のとおり			
議題2. 2022年10月1日から2023年3月31日までの契約状況等について			
別紙のとおり			
議題3. 公益法人に対する支出の公表・点検の方針について			
別紙のとおり			
議題4. 2022年度調達等合理化計画に対する自己評価及び2023年度国際観光振興機構調達等合理化計画の点検			
別紙のとおり			

議題1. 2023年度の主な取組方針		
報告内容	観光立国推進基本法に基づき、2023年3月31日に閣議決定した「観光立国推進基本計画」を踏まえた2023年度のJNTO主な取組を説明	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	・特になし	—
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	・特になし	

議題2. 2022年10月1日から2023年3月31日までの契約状況等について【契約状況全般】		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	・特になし	—
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	・特になし	

【抽出事案1】一般競争入札(最低価格落札方式)		
【契約件名】 国際会議統計業務の外部発注(2022年度及び2023年度)	【契約相手方】株式会社サーベイリサーチセンター	
【契約金額】10,318,000円	【契約締結日】2022年10月28日	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	①一般競争入札の再公示となっているが、再公示になった経緯等を説明頂きたい。	当初入札において1者が参加し、応札額が予定価格を上回ったため、再度公告入札(再公示)を行った。
	②過去の入札結果を説明頂くとともに、次の発注に向けた競争性確保のための取り組みを説明頂きたい。	②これまでも、応札者を増やすため、過去の受注事業者や専門会社等へ入札案内を行うとともに、入札前には事前説明会を開催するなどして、入札参加者が増えるよう努めてきているところ、本事業において、入札説明書の交付を申請した事業者は5年間で計7者あり、1者入札となったのは2回である。
	③1者入札となっているが、特定の事業者に優位な仕様となっていないか説明頂きたい。	③平成25年度からの一般競争入札より3者の受注実績があり、また、仕様書では特定の事業者が優位となる特殊技術の保有等は求めている。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・特になし	

【抽出事案2】随意契約方式(企画競争方式)		
【契約件名】 2022年度高付加価値旅行商談会出展およびコンソーシアム等と連携した情報発信事業	【契約相手方】株式会社JR西日本コミュニケーションズ	
【契約金額】59,390,205円	【契約締結日】2022年11月18日	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	①当事業は、1者応募となっている。他の事業者が応募して来なかった理由をどのように分析しているのか説明頂きたい。(仕様書等を取りに来た事業者は何者であったかを踏まえ、説明をして欲しい。)	<p>本事業の企画競争実施に当たっては、企画競争実施要領に基づく公示期間を設定し、企画競争説明書に事業に必要な詳細情報について記載し、企画競争説明書を配付したのは、11者であったが結果的に1者応募となった。</p> <p>企画提案書を提出しなかった理由を問うアンケート(10者中5者より回答)では、事業者側都合等の回答のほか、発注規模を分割して欲しい等の回答もあったので、アンケート結果も参考として、発注規模を検討していきたい。</p>
	②落札事業者が、評価された点を説明頂きたい。	<p>企画競争時の評価点については、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容や各商談会、コンソーシアムの特性を理解した上で、必須提案内容を網羅した提案を行っている。</li> <li>・高付加価値旅行コンソーシアムが実施する会員向けのネットワークイベントであるThe President Clubについて、各会場の与件がよく吟味されている。</li> <li>・業務内容の理解度が高く、過去に類似事業を実施した経験からも遂行の確実性が高い。</li> </ul>
③契約変更をしているが変更の際、金額の適正性をどのように確認しているか説明頂きたい。	<p>②原契約では 61,805,205 円であったが、ILTM Cannes のオープニングフォーラムでの動画放映が主催者側の都合により実施できないことによる減額(▲2,800,000 円)、ILTM Cannes および The Essence of Luxury Travel 商談会のJNTOからの職員派遣体制等の関係で通訳が不要となったことによる減額(▲1,000,000 円)、動画放映未実施に伴う代替事業のネットワークイベント実施に伴う増額(+1,385,000 円)の金額変更を行った結果、59,390,205 円に変更契約を結ぶこととなった。</p> <p>金額の確認について、他のイベントの実績を参考に金額の妥当性を確認した。</p>	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・特になし	

【抽出事案3】随意契約方式(企画競争方式)

【契約件名】 2022年度中国市場における美食をテーマとした訪日プロモーション事業①(キャンペーン)	【契約相手方】大広(中国)广告有限公司 広州分公司
【契約金額】52,986,049円 (3,010,571元)	【契約締結日】2022年10月17日

	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>①広州事務所は、海外事務所の中では比較的新しい事務所であり、他の事務所に比べ契約等事務のノウハウが少ないと思うが、適正な企画競争事務や契約事務をどのように確保したのか説明頂きたい。</p>	<p>①広州事務所は、2019年8月にJNTO香港事務所内に広州事務所設置準備室(所在地:広州市)を設置した後、2019年12月に事務所として開設した。準備室時代より、企画競争事務や契約事務を総括する本部や実際にそれらの事務を行っている上海事務所からのサポートを受け、適正な企画競争事務や契約事務の開始に向けた準備を進めた。事務所開設後は、契約事務数を徐々に増やししながら、事務所内、組織内(当所、中国内他事務所および本部間)での相互確認を実践することで、適正な企画競争事務や契約事務を確保した。</p>
	<p>②当事業は、2者応札となっており、落札者は、広州市に在る事業者となっているが、どのように事業者を開拓したのか説明頂きたい。また、落札事業者は、成都事務所の事業も受注をしているようであるが何か関係はあるのか。</p>	<p>②広州事務所・成都事務所では、長年VJ事業を展開してきた上海・北京事務所からの事業者情報や在広州日系コミュニティにおける情報交換から広州所在の広告代理店にコンタクトを取り、事業者開拓を行った。</p>
	<p>③落札事業者が、評価された点を説明頂きたい。</p>	<p>③企画競争時の評価点については、以下のとおり。</p> <p>独創性の評価:                      ・メディアの特徴を踏まえた各投稿案が提案されており、独創性にて評価に値する。                      ・旅行検討時に利用されやすい中国SNSを活用したプロモーション施策が提案されている。</p> <p>的確性の評価:                      ・特集ページに掲載する情報をより多くの人に閲読してもらうためのキャンペーン内容が盛り込まれている。                      ・オンライン広告の目標値達成に向けた具体的施策の実施等、広告効果の最適化に関する提案が盛り込まれている。</p>

委員会による意見の具申又は勧告の内容	・特になし
--------------------	-------

議題3. 公益法人に対する支出の公表・点検の方針について	
契約監視委員会において審議することとなった経緯	(該当なし)
審議における観点	(該当なし)
【契約件名】(該当なし)	【契約相手方】(該当なし)
【契約金額】(該当なし)	【契約締結日】(該当なし)
審議概要	(該当なし)
議題4. 2022年度調達等合理化計画に対する自己評価及び2023年度国際観光振興機構調達等合理化計画の点検	
報告内容	<p>2022年度調達等合理化計画の重点取り組みの実施状況及び評価については、以下3点の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日プロモーション事業の企画競争要件審査におけるチェックリストを導入したことで、審査の充実・迅速化が図られ、計画的な事業の実施につながった。</li> <li>・総合評価方式の実施については、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、今まで総合評価で行ってきた事業が新たな環境形態(オンライン・ハイブリッド開催)での事業となり、これらの新たな環境に適応した事業の実施を念頭に、企画競争方式での調達を行ったため、総合評価落札方式による調達は計画どおりとならなかった。</li> <li>・企画競争の一者応募の見直しについて、一者応募の件数は企画競争88件中、31件となり、割合が2021年度より増加したため、各事業ごとにアンケート結果等も参考に、今後の調達を行っていく。</li> </ul> <p>また、継続取り組みの実施状況及び評価については、SDGsの観点も踏まえつつ、障害者就労施設等からの優先調達や、コピー経費の削減のためのプリンターの留め置き機能の活用および各種会議の更なるペーパーレス化を進めた。</p> <p>2023年度調達等合理化計画においては、重点的な取り組みとして2022年度まで行ってきた要件審査チェックリストは引き続き行っていくが、重点取り組みとしては終了し、新たに、他の独法と消耗品の共同調達を行い、経費削減のほか事務コスト削減を図っていくこととする。</p>
委員からの意見・質問、それに対する回答等	(該当なし)
委員会による意見の具申又は勧告の内容	(該当なし)
【その他全体を通しての委員からの意見・質問等】	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	・特になし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・特になし